

青森市社会連合会報

第6号

町会活動の活発化を望む



青森市町会連合会

会長

坂本 松三郎

まず、今回の選挙において、市民の絶大な信頼を受け、再任市長になられた奈良岡市長に対し、各町会員を代表し衷心よりお祝いを申し上げます。

申すまでもなく、地域の発展、繁栄と住民の福祉増進はまず第一に環境の整備と、健康を明るく住みよい豊かな町

づくりが先決であると確信いたします。これを實現するには、行政のみまかせきりでは、地域住民の幸福は望めないの

で、行政と住民が一体となり、両者で話し合いを推しすすめながら、住民が望んでいる日常生活のなまみを一つ一つ解決していかねばならないと思ひます。

その話し合いの中心はあくまで町会であり、従つて町会はいろいろの問題の処

理をたつて各家庭でやらなければならぬこと、地域住民の組織としてやるべきこと、当然行政機関でやるべきことなど

に關し、町民と協議して町づくりの具体的計画を立案し、逐次これを實現していく積極性があつてしかるべきかと思ひます。

また町会は、町民の生活向上を目指して活動する必要があると思ひます。この生活向上は単に物的のものだけでなく、精神的な面、教育、老人問題等住民の生活に影響する問題の研究をすべきだと存じます。

市民総参加の市政を！

青森市長 奈良岡 末造



活を最優先する市民総参加の市政を進めてまいりましたが、その出発点はやはり町会連合会が一貫して掲げてこられた生活環境の整備と住民意識の向上

自分たちの生活環境をよりよいもの向上させ、充実した快適な生活を

おこなうとする清新かつ自発的な百七十近くにも及ぶ町会組織、その心を一つにする町会連合会、市政の将来に向かつて本當に心強いばかりであります。

私は市政担当の過去四年間、市民生

活を最優先する市民総参加の市政を進めてまいりましたが、その出発点はやはり町会連合会が一貫して掲げてこられた生活環境の整備と住民意識の向上にほかなりません。このびつたり合った呼吸が施策全般のうえにいかにか大きな力となったことかと、私は事業効果

を考へ、実績を評価するにつけ「市民がつくる青森市」の感を深くし、市民の逞しい熱意と努力に感激を新たに

いたしております。私は市民の温かい支持をいたいて再び市政と取り組むことになりましたが、信頼にぞむかす、初志を忘れず皆さんと苦楽を分かち合ひながらより

住みよい素晴らしい青森市の建設に全魂を傾けたいと奮起いたしておりますので、どうか変わらぬご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆さんの健康を祈つてやみません。

今日、子どもの教育は、学校と家庭と社会の三本の柱に支えられていると申されております。したがって社会の責任は町会が中心となつて果たして行くべきであり、よつて子ども会または子どもを守る母の会等の育成強化対策等も立案の要あるものと思ひます。

以上を勘案して町会並びに住民の手で是非ともやつていただきたいことを具体的に申し上げます。

一、木を植え、花を育て各家庭の周囲を清掃して町をきれいにする。

一、交通事故を起こさない、交通事故にあわないように注意すること。

一、火災予防ならびに犯罪防止につとめること。

一、瘴気を予防し、健康を確保すること。

一、除雪、排雪に協力すること。

一、街灯を整備し、町内を明るくすること。

この六項目を主たる目標として活動を続けたい所存であります。何卒ご協力をお願い申し上げます。



発行者
青森市橋本二丁目一番十七号
青森市町会連合会
会長 坂本 松三郎
昭和四十六年六月十日発行
印刷
東奥日報社出版部

昭和四十六年度

町会連合会総会盛會裡に終る

昭和四十六年度町会連合会総会は、五月七日午後一時十分から青森県商工会館五階ホールで開催した。出席町会長は二二六名で、来賓として、奈良岡市長、三上市議会議長、青森警署署長(代)、青森観光協会展長(代)、東北電力青森営業所長(代)が臨席された。

昭和四十五年代表彰者

おめでとうございます

◎十年勤続町会長

- 森山七蔵(矢作)
阿部義八(鍛冶町)
平岡国太郎(安万町)
秋谷良之助(緑町)

◎五年勤続町会長

- 斎藤賢信(嘉重町)
山口金丸(三内第一)
倉内政次郎(鶴ヶ坂上)
室谷岩吉(北金沢)
倉内賢太郎(常盤町)
和田哲美(岡造道)
佐藤鉄五郎(搦町)
阿保七五郎(寺町)
神清一(橋本)
岩淵徳一(油館第四)
飯田伝蔵(富田町)
佐藤静郎(釜屋町)
太田勝吉(野木和)
我満徹(孫内)
渡辺由蔵(大野)

◎優良町会員 三三三名

- 山口健治郎(小柳)
山田正春(戸門)
鹿内鉄弥(戸崎)
対馬平題(佃本町東)
須々田源之助(協和町)
今井永三(南奥野)
(故)久我健太郎(浜町)
木村鉄太郎(浜田)
中央旭町町会
左堰町町会
若宮町町会
大矢沢町会

◎感謝状贈呈

青森遊技業協同組合

福士副会長の開会の宣言に始まり、坂本松三郎会長のあいさつがあつて表彰に移り(表彰者氏名別掲のとおり)、被表彰者を代表して秋谷良之助氏(緑町町会長)が謝辞を述べた。続いて奈良岡市長、三上市議会議長、青森警署署長(代)の祝辞があつて議事に入り

一、昭和四十五年度庶務、事業報告(省略)を承認

二、昭和四十五年度収支決算(収入二〇七九、一五五円、支出二、〇四三、〇三三円、差引残三三六、〇八二円は四十六年度へ繰越)を承認

三、昭和四十六年度事業計画(案)を可決(別掲のとおり)

四、昭和四十六年度収支予算(収入支出共二、二七二、九八二円)を可決

以上を異議なく可決し議事を終わり、佐々木副会長の閉会のことばがあつて、午後二時四十五分閉会した。

昭和46年度青森市

町会連合会事業計画

- 1、献血促進運動の推進
2、青少年の不良化防止運動ならびに子ども会の設置奨励
3、ひるあんどんの解消ならびに街を明るくする運動
4、交通事故防止運動ならびに町内交通安全班の育成強化
5、火災予防ならびに成人病予防等衛生思想の向上に関する指導宣伝
6、市内の美化ならびに街路樹の保護育成等緑化促進運動
7、他市町会の運営活動状況の視察研究
8、街路灯の電気料金市負担の増額運動
9、道路ならびに排水側溝の整備促進運動
10、じん芥収集に協力及び河川投票防止運動
11、衛生害虫の駆除促進運動
12、子どもの遊び場増設運動
13、青森県交通災害共済に全市民加入運動
14、連合会報の発行
15、公害防止ならびに除排雪促進運動
16、その他市民の福祉増進に関する運動

1,000万人のスポーツ みんなで釣りをしましょう

本格的釣り具はお近くの専門店で

近代釣具卸商社

太公堂釣漁具株式会社

青森市横内字泉川63番地の1(問屋町)
TEL 0177-7421
インテリヤTEL 0177-2201



交通事故防止は、一人一人の自覚から

家庭生活、業務上また通学通勤中誰しもハッとするようなことを毎日のように体験していると思います。特に交通事故にそれが多く、つまりほとんどの人が命びろいをしていることが何度かあろう。運の良し悪しだけでは済まされない。

先日のこと、浪館通り久須志神社前で交通事故中、横断歩道が神社の前にあるのに、一寸の近道と思ったのか途中で横断しようとした主婦がいた。相当速度を出していると思われる一台の乗用車が急ブレーキをかけた。乗用車はななめにとまった。われわれ整理にあたっている者みんながハッとしました。ななめにとまらなかつたら、おそらく交通事故にあつたことだろう。

交通事故が日常茶飯事になった気えをする。今日一人一人が、その恐ろしさを悟り定められたルールを守っていれば事故は起きない。「急がばまわれ」と言うことをよく念頭におくべきだ。自動車も文明の利器にもなれば、殺人機械にもなる。人の手で人を殺し、傷つける。そんなことは許されぬ。自動車は便利でもあるが、恐ろしいものであることをわすれてはならないと思ふ。

（上三上町交通安全班長 佐々木 正 造）
ヒヤッとした
あの一瞬を忘れるな

交通事故「私の提案」募集

ふるって「ご」応募を！！

「わが家から交通事故を防止するにはどうしたらよいか」

一、主旨

交通事故防止については行政機関はもちろぬ、あらゆる団体でもつきとなつて運動をつづけられていますが、事故はふえ

る一方で交通事故とまでさげはれてはいます。したがつて私達は一歩外にでればその戦争の危険にさらされている状態であり、それのため交通環境の整備も必要であり、早急に対処すべきであります。自己の安全を他にたよるより、自らが事故をさ

けて行動し、わが身の安全をはかるべきであると思ひます。

そこで、この交通戦争に対処し、一家の安全をはかるため自分の家から交通事故をなくするにはどうしたらよいかを左記に上の募集いたします。

- 二、主催 青森市町会連合会
- 三、募集期間 昭和四十六年六月十五日 から昭和四十六年七月十五日まで
- 四、応募資格 市内に住所を有するかた
- 五、応募方法

①四百字詰原稿用紙二枚以内

②住所・氏名・年齢・職業（勤務先）を明記すること。

六、応募先（送付先） 青森市橋本二丁目一番一七号 商工会館内 青森市町会連合会事務局 TEL 〇二

七、入賞

- ①特選 一人 賞状及び賞金（三千円）
- ②準特選 二人 賞状及び賞金（二千円）
- ③入選 五人 賞状及び賞金（千円）
- ④応募者全員に粗品を贈呈する。

八、入賞発表 「町会連合会報」紙上
九、入賞者表彰 昭和四十六年七月下旬（予定）
なお、特選については全文を会報に掲載紹介して、市内全家庭に対するの参考とする。

町会防犯連絡所の利用を



警察、青森地区防犯協会では、「防犯連絡所」の設置をすすめてきましたが、町会長さんはじめ、皆様のご協力により一五〇カ所の「防犯連絡所（員）」が委嘱され、各種防犯活動に相応の効果をあげております。

「防犯連絡所」というのは、皆さんの地域から、犯罪（少年非行）、交通事故などを発生させないよう、また、不幸にして事件、事故の発生があつた場合、一日も早く解決し、被害を最小限度に抑え、再犯を防止するための活動に、協力していただい

おるところであります。

また、「防犯連絡所」では、

- 一、犯罪（ドロボー、さき、傷害、おどしなど）の被害にかかつて、困っている人を知ったとき
- 二、少年の非行（シンナー、ボンド遊び、家出少年、けんか、婦女いたずら）を発見したとき
- 三、悪質な押売り、物賣りが来て、近所の人々が迷惑したり、不安に思つて

- 四、不審なものが家の回りをうろついているとき
- 五、ちかちかしいものをみかけたり、ちかちか出るなどの噂を聞いたとき
- 六、火災、水害、その他人身事故の発生を知ったとき
- 七、交通事故（特に引き逃げ事件を重視している）の発生を知ったとき

などの場合、あたりに電話その他の方法で、警察に連絡、通報することになつておるのであります。

わが青い森の郷土が、犯罪、火災、水害、交通、その他の事故により、黒い森とならないよう、警察では日夜努力しておりますし、「防犯連絡員」の方々の協力によって、その目的も達成されつておるのであります。

市民の皆さん
警察では、皆さん一人一人が「防犯連絡員」のつもりで「青い森、明るいまちづくり」にご協力下さることを願つてゐるものであります。

（青森警察署）

声のひろば

あなたの声も
おきかせください

▽青葉の季節ですが、青森市には木が若干あるが森がない。そのわずかな木の青い芽をわざわざ切りとって成長をさまたげている国道の街路樹。プラタナスの気持も知らない人間よ、反省せよ。

▽最近市内に毎日のように火災が発生しておりますが、火災は各自、各家庭の注意によって防ぐことができます。

お互いに火気に対する注意事項をよく守り、わが家、わが町内から火災をささないよう、毎日心がけようではありませんか。

▽ゴミの収集日でない日、または前日の夕方に出して居るものをみうけます。犬が汚物をちらかし、町の美化をそねており、衛生上の見地からもよくありません。ゴミは必ず収集日の朝に出すようにしましょう。

▽青森市町会連合会は、美しい町づくりを目標に明るく、住みよい環境づくりの一環として、花いっぱい運動を展開しております。

第一に庭の除草し、草花を育てて咲かせましょう。

花いっぱい運動は郷土の美化であり、郷土の豊かな人間愛の精神涵養にもつながるものと思います。

みな様の協力をお願いします。

▽市長が市役所に「緑と花の課」をつくることを発表しましたが大賛成である。早く課を発足させて青い森実現のため積極的にやってもらいたい。

私たちが町民あげて協力するつもりだ。次のことを是非実施していただきたい。

一、住民参加をしようため町会から一名ずつ植木等に経験豊かな本当の花と木を愛する人を出して市と協議し、いろいろな事業を相協力してやってみよう。

二、各町会に二カ所以上のモデル花壇づくりをし技術指導をする。

三、花と緑で町を美しくする月間を設定する。

四、札幌のライラック祭りのように、花のきれいな木を計画的に植えて、青森市の春の祭典とし、県外の人を呼びよせる。

五、老人の家の建設に合わせ、あるいは独自に大庭園をつくり、老人の憩いの場と観光事業に資するようにする。

六、柳町通りにこんもりとした森の建設をする。

七、花と木の銀行をつくる。

新しい町会

どうぞよろしく

- 志田町会（会長荒井政之進）
- 古川三丁目第一町会（会長岩谷岩吉）
- 北平岡町会（会長高山良）

『編集後記』

▽青森市町会連合会報は、市民皆さんの会報です。できるだけたくさんの方々のご意見、ご希望を反映させていきたいと考えています。

▽市民生活のなかでのさまざまな出来事、町の話題や自慢、あるいは他の町の方々にお知らせしたいことなど、どんなことでも結構です。ご投稿ください。

▽今迄一つも投稿がなく困っております。

相談案内

すべての悩みごとは市役所、市民相談室へお気軽にどうぞ！

談話相談	毎日	午前
相談	毎17日	午前
相談	毎19日	午前

相 談 談 話
政 婚 相 談
市 結 内 法 律、交 通 事 故 相 談

広告掲載希望の


方はどうぞ……

この会報は各町内会を通じて市内全家庭に回覧されます。広告掲載ご希望の方は事務局へお申し込みください。

クンゼ

強 い 美 しい 経 済 的 長 沓 下
ハイパララン ハイタピロン ハイノンラン メリヤス
地区代理店 金 の 品 質 の 価 格

盛 喜 株 式 会 社



建築とインテリアの企画と設計監理
北の街をデザインプロジェクトする

青森・連合設計社
栗原忠建築設計事務所

青森事務所 青森市本町1の7の2(76)3646 本社 東京